

グラフと絵で見る食料・農業

—統計ダイジェスト—

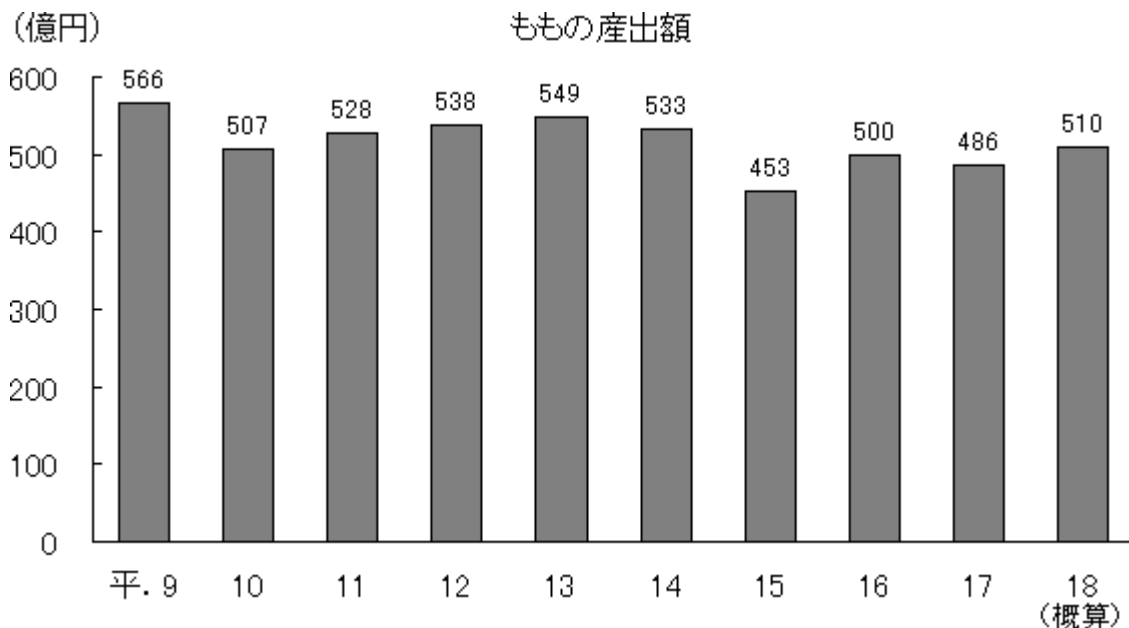
統計部

[トップページへ](#)

ももも

- (1) 産出額
- (2) 栽培実農家数
- (3) 結果樹面積・収穫量の動向
- (4) 卸売価格の動向
- (5) もも等の貿易量

(1) 産出額

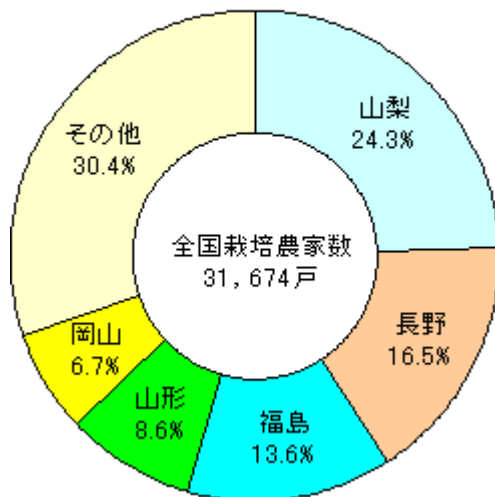


資料：農林水産省「平成18年農業産出額（都道府県、市町村別）」

平成18年のももの産出額（概算）は、510億円で、前年に比べて24億円（4.9%）増加しています。

(2) 栽培実農家数

ももの栽培農家数



平成17年のももの栽培実農家数は、3万2千戸です。山梨県、長野県、福島県、山形県、岡山県の順に多く、この5県で全国の約7割を占めています。

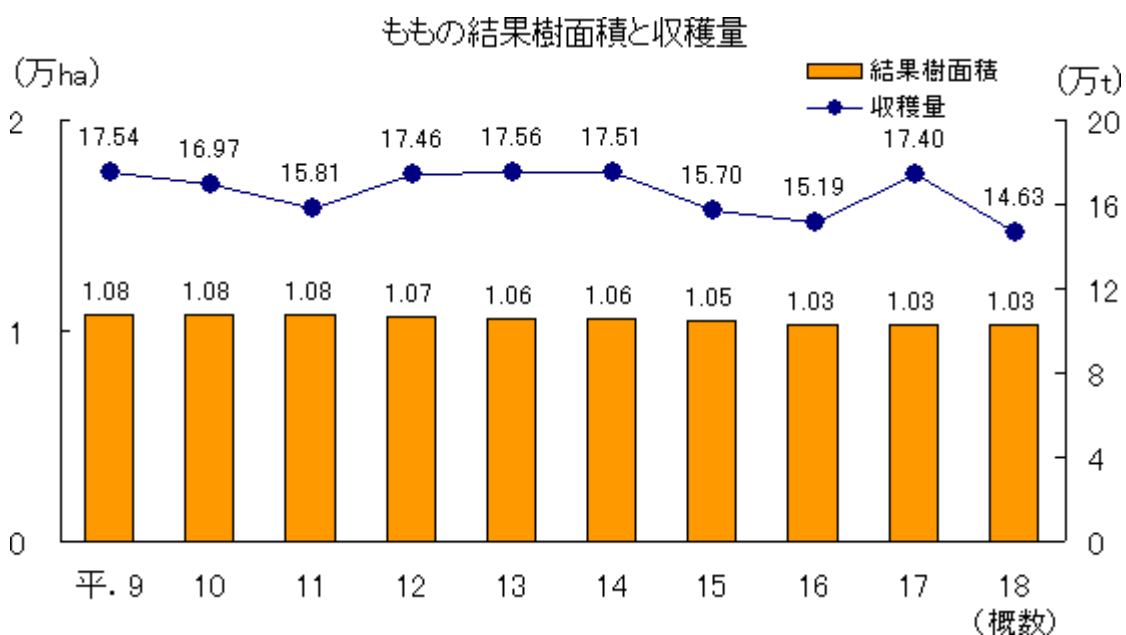
資料：農林水産省「2005年農林業センサス」

注1：農家数とは、販売目的で果実を栽培した農家数をいう。

2：露地栽培または施設栽培によりももを栽培した農家数である。

[トップへ](#)

(3) 結果樹面積・収穫量の動向



資料：農林水産省「平成18年産もも、すももの収穫量及び出荷量」

もも収穫量上位5県（平成18年産）

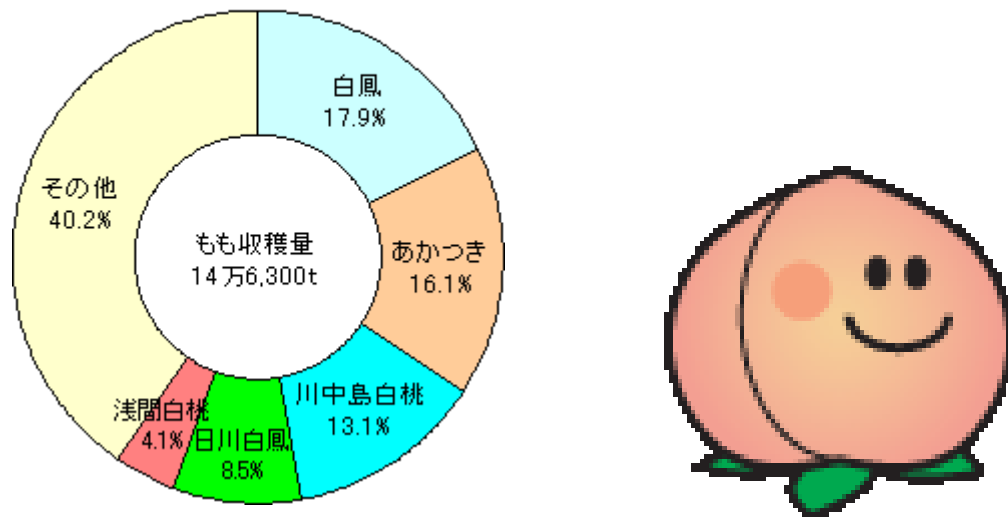
順位	都道府県	収穫量(t)
1	山梨	51 600
2	福島	29 800
3	長野	18 100

平成18年産ももの結果樹面積は1万300ha、収穫量は14万6,300トンとなっています。
上位5県で全国の収穫量の約8割

4	和歌山	11 000	を占めています。
5	山形	8 830	

資料：農林水産省「平成18年産もも、すももの収穫量及び出荷量」

ももの品種別収穫量割合

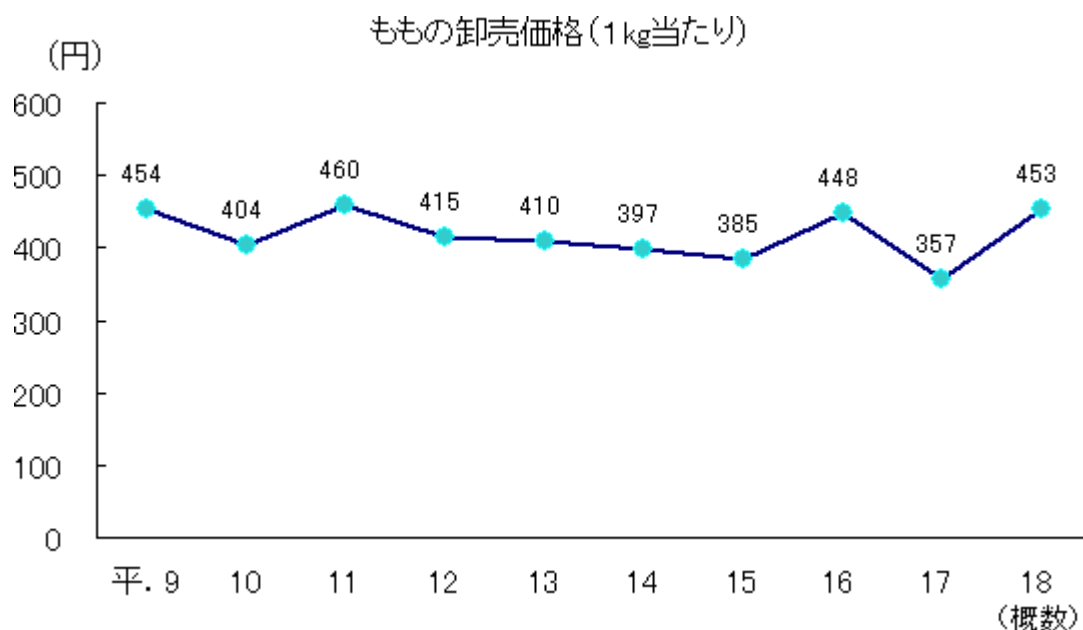


資料：農林水産省「平成18年産もも、すももの収穫量及び出荷量」

また、収穫量を品種別にみると、白鳳が2万6,200トン、あかつきが2万3,600トン、川中島白桃が1万9,100トンで、それぞれ18%、16%、13%を占めています。

[トップへ](#)

(4) 卸売価格の動向



資料：農林水産省「平成18年青果物卸売市場調査結果の概要」

平成18年のももの卸売価格（概数）は、1kg当たり453円で、前年に比べて96円（26.9%）上昇しています。

[トップへ](#)



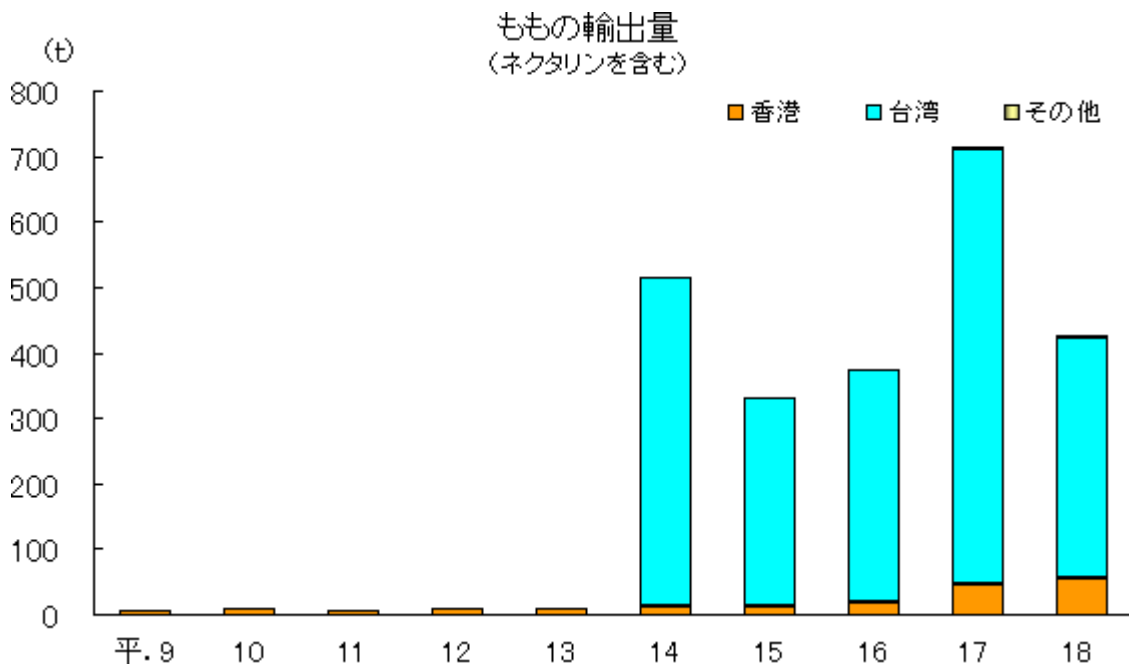
一口メモ…ももの由来

ももの原産は、中国西北部の黄河上流の高原地帯です。日本では「日本書紀」や「古事記」にも出てきており、我が国への渡来は弥生時代ともいわれ、平安時代には食生活に重要な食べ物の一つとして数えられています。

ももは、植物学的にはバラ科サクラ属に属していますが、花がとてもきれいなことから、江戸時代には果実の収穫を目的とした栽培に加え、花木として多くの種類が栽培され珍重されていました。

[トップへ](#)

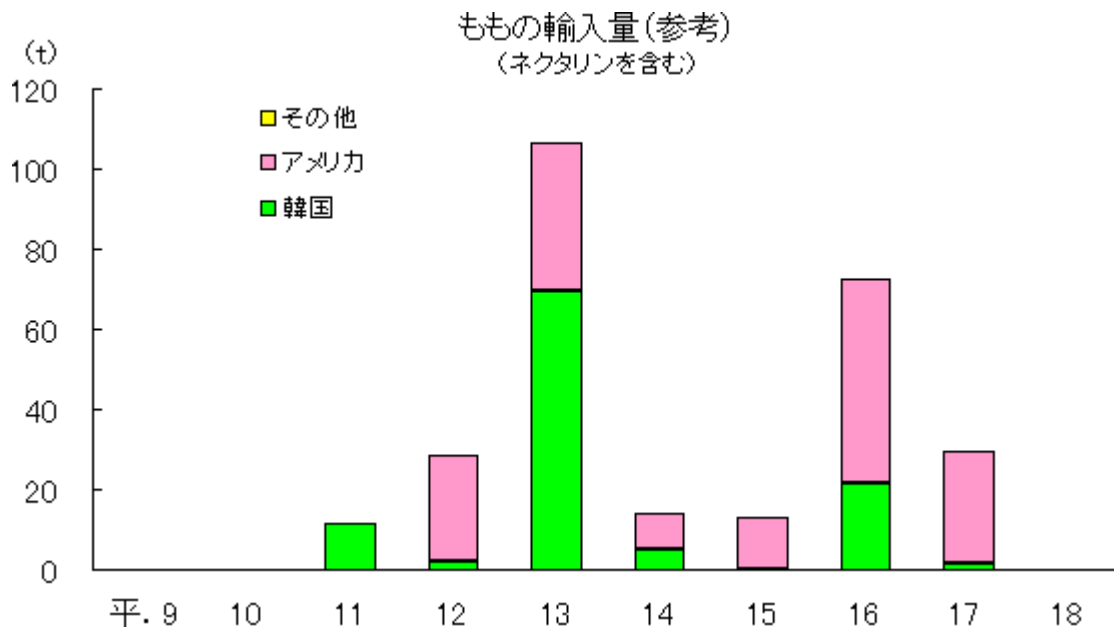
(5) もも等の貿易量



資料：財務省「貿易統計」

●ネクタリンとは、一般的なももよりもひとまわり小さく、果肉のしまったやや堅めの、酸味のある果実です。果皮はつるつるして、毛のないもので、和名「毛なしもも」と呼ばれています。

平成18年のもも等の輸出量は425トンとなっています。
台湾（86%）への輸出が多くなっています。



資料：財務省「貿易統計」



一口メモ…ももの効能

ももは多汁で風味がよく、食物繊維のペクチンが多く含まれていることから、食欲増進、便秘予防にも良いとされています。

また、種の中にある「仁」は桃仁（とうにん）と呼ばれ漢方薬として用いられているほか、花を乾燥させて作った『花茶』は便秘の予防・改善に、刻んだ葉は「入浴剤」、「うがい薬」としても効果があるといわれています。

みずみずしいももは不老長寿の果物といわれています。

[トップへ](#)